

経緯

2020年度から卒後臨床研修の改訂があり、40単位以上の外来研修が必須となる。外来研修の時間確保は、臨床研修病院にとって大きな課題である。当院では1989年より小児科での対面式外来研修を行っており、長年にわたり研修医、家庭医、診療所医師の研修を行ってきた。

小児科研修スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------|----|----|-----------|----|----|----|
| 9:00 12:30 | 外来 | 外来 | 外来 | 外来 | 講義 | 外来 |
| 13:30 15:00 | 病棟 | アレ | 病棟/ 往診 | 病棟 | 病棟 | |
| 15:00 17:00 | 外来 | アレ | アレ | 乳健 | 外来 | |
| 17:00 18:30 | 外来 | アレ | 舌下 免疫 | 外来 | 外来 | |

※アレ：アレルギー特診



診察の流れ



小児科外来のレイアウト
指導医と研修医のデスクを対面で配置
電子カルテは対面で連動

最初の2週間は先に指導医が診察/処方し、その後研修医が診察する。
3週目から研修医が先に診察し処方案を提示する。所見が合わなければ患者は研修医の診察に差し戻される。
所見が合うまで診察を繰り返す。

1~2週間

研修医の診察

指導医の診察

3週目以降

| | 病棟 | 外来 |
|----|-----------------------|------------------------|
| 長所 | じっくり診察できる 珍しい疾患がある | 症例数が多い その場で指導を受けられる |
| 短所 | 指導医の目が届きづらい | 診察時間が短い |



結論

- リアルタイムで指導を受けることで、診察技術や診断に至るまでの思考プロセス・治療法だけでなく、患児や家族との接し方、病状説明の仕方など、多くを学ぶことができる
- 所見の取り間違いや誤った仮説生成を回避でき、正しい診断を学ぶことができる
- 一日に30名から100余名の診察をするため、正常所見と許容範囲を多数経験できる
- 日常診療の中で指導を行うため、研修のための特別な手間や時間がかからない